

広島市立大学国際学部『広島国際研究』刊行規程

(刊行の目的)

第1条 広島市立大学国際学部(以下「学部」という。)における学術研究の成果を発表するため、『広島国際研究』(以下「本誌」という。)を刊行する。

(掲載内容)

第2条 本誌に掲載する研究成果は、国際研究とのかかわりを有する未発表の学術論文および研究ノートに限る。

(投稿資格)

第3条 本誌に研究成果を発表する資格を有する者は、主に学部の専任の教員及び本学の非常勤講師などとする。ただし、本学の教員以外の者の投稿を妨げない。

(刊行)

第4条 本誌は、原則として毎年度1回刊行するものとし、刊行は11月末までとする。

(委員会)

第5条 本誌の編集、刊行を行うため、『広島国際研究』編集委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会の組織及び運営については、別に定める。

第6条 この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成6年7月27日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年6月19日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年7月20日から施行する。

広島市立大学『広島国際研究』刊行規程に関する細則

広島市立大学国際学部『広島国際研究』刊行規程第6条の規程により、次のとおり細則を定める。

1 投稿手続き

- (1) 『広島国際研究』に投稿しようとする者は、毎年度2月末日までに、所定の投稿申込書を国際学部事務室に提出しなければならない。
- (2) 原稿の提出締切日は、毎年度4月15日とする。
- (3) 原稿の提出に当たっては、必ず原稿を封筒に入れ、所定の論文または研究ノート投稿用紙に必要事項を記入し、封筒に貼り付けて国際学部事務室に提出するものとする。

2 執筆要項について

原稿の執筆要項については別に定める。

3 論文および研究ノート審査について

- (1) 投稿論文および研究ノート審査については、審査により、掲載の可否を決定するものとする。
- (2) 審査は、別に定めるところにより、行うものとする。ただし、依頼論文についてはこの限りでない。

4 刊行規模及び体裁

- (1) 刊行規模については、編集委員会がその都度決める。
- (2) 体裁は、B 5判とし、原則として横2段組とする。ただし、研究分野によっては、縦2段組とすることができる。

5 校正等について

- (1) 編集に当たり、編集委員会が必要があると認めたときは、執筆者に原稿の書き直し、縮小等を求めることができる。
- (2) 著者校正は、原則として、1回とする。なお、校正の際の訂正加筆は、植字上の誤りに限るものとする。

6 印刷部数について

印刷部数は、発行の都度、必要に応じて編集委員会で決定する。

7 配付について

『広島国際研究』は次に掲げるところにより、無料で配付するものとする。

- ① 執筆者 本冊1部
- ② 国際学部の専任教員及び本学の非常勤講師で配布を希望する者 本冊1部
- ③ 国際学部の学生及び国際学研究院生で配布を希望する者 本冊1部
- ④ その他編集委員会で認めた者及び機関

8 ウェブ上での公開とその許諾について

『広島国際研究』は、編集委員会が認める手段でウェブ上に公開される。投稿申込書の提出をもって、投稿論文がウェブ上に公開されることに関して著者が許諾したものとする。

附 則 この規程は、平成6年7月27日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年6月19日から施行する。

附 則 この規程は、平成20年11月19日から施行する。

附 則 この規程は、平成23年7月20日から施行する。

Hiroshima Journal of International Studies

The Hiroshima Journal of International Studies publishes empirical and theoretical papers in the general area of international studies. Preference will be given to papers addressing issues in political science, economics and management, and cultural studies, including language studies and education. Contributions of an interdisciplinary nature are especially encouraged.

All papers submitted must not be under consideration by any other journal and will be subject to a blind review process. The Journal is published annually and all papers must be submitted by April 15 of the year of publication. Authors should inform the editor of their intended submission by the last day of February.

The editorial committee encourages all staff of the Faculty of International Studies to disseminate their research findings via this journal. The committee will from time to time invite submissions from eminent scholars and will be pleased to consider submissions from researchers in other parts of Japan and those from overseas.

Any researcher interested in contributing to the Journal should contact and request the General Guidelines for a paper from the following: Faculty of International Studies, Hiroshima City University, 3-4-1, Ozuka-higashi, Asaminami-ku, Hiroshima, 731-3194, Japan.

Fax: (082) 830-1657

『広島国際研究』第22巻

執筆者紹介（掲載順）

- 福井 康人（本学平和研究所准教授）
西田 竜也（本学国際学部准教授）
大庭 千恵子（本学国際学部教授）
李 玲（本学国際学部講師）
Nassrine Azimi（広島大学大学院総合科学研究科博士後期課程）
欒 竹民（本学国際学部教授）
武藤 彩加（本学国際学部准教授）
曾根 幹子（本学国際学部教授）
卜部 匡司（本学国際学部准教授）

編集委員（アルファベット順 ○印：委員長）

	飯	島	典	子	（准教授）
	李			玲	（准教授）
○	欒		竹	民	（教授）
	高	橋	広	雅	（准教授）
	宇	野	昌	樹	（教授）

編集後記

教育は百年の大計と言われるが、弱冠となった本学は世の激変の中でその大計を遂げるという初志を銘じて期願を迎えられるよう願って止まない。本年度も政治、経済、文化など多岐にわたる研究分野から力作を投稿して頂いた。また、この22巻も各号同様、学内外の諸先生方に査読を依頼し、入念で且つ的確な意見や助言を賜った。皆様のご協力に改めて厚く感謝の意を表したい。毎年一刊ずつ世に出すという試みは変わらないが、その試みは皆新しいものばかりである。本誌が各分野の教育、研究に資するものになれば幸甚である。

（欒 記）

2016年11月30日発行

編 集 広島市安佐南区大塚東3-4-1
広島市立大学国際学部
『広島国際研究』編集委員会
電話 082(830)1505

発 行 者 広島市安佐南区大塚東3-4-1
広島市立大学国際学部
学部長 吉田晴彦
電話 082(830)1505

印 刷 者 株式会社 沼田総合印刷
代表者 丸林智行